

総合的な学習でキャリア教育に取り組む

「キャリア教育」は「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」と定義されています。より分かりやすく言えば、「子どもたちが、社会の一員としての役割を果たすとともに、それぞれの個性、持ち味を最大限発揮しながら、自立して生きていくために必要な能力や態度を育てる教育」であるということが出来ます。学校でのすべての学習はキャリア教育に集約されると言ってもいいかもしれません。高校調べや仕事調べだけで終わるのではなく、将来どんな仕事に就いてどのように生計を立てるのか、どんな形で社会貢献を果たしていくのか、人生の価値を何に置いていかに自己実現を図っていくのかなどを総合的に考える学習とも言えます。11月に本校で取り組んだ1、2年生の取り組みを紹介します。

1年生～キャリア・メッセージ2017

1年生が、社会人・職業人による体験談や専門的講話を聞くことを通して、働くことの意義や自分の生き方について考え、目的意識をもって学校生活を送っていく意欲を高めることをねらいとして、11月9日（木）「キャリアメッセージ2017」を開催しました。

この取り組みの特徴は、教育懇話会役員の方がぜひ聞かせたい講師のリストを作成し、役員自ら講師に依頼する点です。本年度も19名もの様々な職業の方においでいただきお話を聞いたり、体験したりしました。当日は代表を中心に、生徒が運営を行い、懇話会役員の方にも各講座に1人ずつついていただきました。感想を紹介します。



全部英語だったので分からない言葉もたくさんあったけど、みんなと楽しく英語が話せました。将来は英語が必要になってくるので、今までよりももっと勉強して話せるようになりたいと思いました。英語に関心を持って授業を受けたいです。また、自分のこれからについて、2030年に何をしているのかについて、考えるきっかけをもらったので良かったです。

辻中孝彦さん
"What will you be in 2030?"

宇佐美さんの話の中の、「未来から逆算して、何のためにしているか常に自分に問いかけよう」と言う部分が心に残りました。人間にはどうしても少し道からそれてしまうことがあると思うけど、そんな時に自分に問いかけをする癖をつけておけば、もう一度自分の歩むべき道に戻れると思いました。

宇佐美孝太さん
ドローンが当たり前になる日



2年生～学問体験「知の冒険」

キャリア教育の一環として、2年生を対象に、学問体験「知の冒険」を、1年生のキャリアメッセージと同じ11月9日(木)に行いました。これは、附属中学校が大学キャンパスに隣接しており、各学部等と迅速な意思疎通が可能である利点を活かし、大学の先生方や施設等を活用した「知への探究心を培う教育」を行うために平成22年度から継続しています。大学の研究室等において講義を受講することで、生徒の知ることへの興味や関心を育て、高等教育への見通しをもたせることもねらいとしています。当日は、生徒が選択した午前の講義12講座、午後の講座11講座(地域学部7コース、農学部3コース、工学部13コース)に分かれ、講義を聴いたり、実験をしたりしました。



「脳と心の働きを知ろう」



「牛の一生」



「先端技術の不思議」



「歌う楽しみ、コーラスする喜び」



「感じてみよう 音の正体」



「生活の中にある酸化と還元」

文化活動の記録～栄光を讀える～

- ・第46回鳥取県中学校優勝弁論大会
優秀賞 3年 田村 彰悟
- ・読売新聞社主催 第61回日本学生科学賞鳥取県審査会
鳥取県教育委員会教育長賞 1年 柳谷 佳輝
入選 1年 後藤 真実 佳作 2年 檜村 紗夜 佳作 1年 大森菜々美
- ・第67回全国小・中学校作文コンクール鳥取県審査会
佳作 2年 山本真名佳
- ・平成29年度鳥取県中学生徒自然科学研究発表大会
団体優秀賞 附属中学校科学部
東部教育局長賞 1年 後藤 真実 2年 山田遼太郎 2年 野田 遥菜
- ・第18回全国中学生創造ものづくり教育フェア「生徒作品コンクール」
最優秀賞 3年 大川 真侑
優秀賞 3年 田村 彰悟 3年 澤 翔悟